

28 E - 08

## 体外受精適応不育症の柴苓湯療法

医療法人 假野クリニック

○假野隆司, 古殿正子

【研究目的】柴苓湯は自己免疫異常（抗核抗体・抗リン脂質抗体陽性）不育症や膠原病感受性HLA抗原（B27,B51,B52,DR2,DR4）保有不育症に有効なことを報告してきたが、今回は卵管性不妊症や男性不妊症等の体外受精（IVF）適応例の不育症因子合併例に対する柴苓湯療法について報告する。

【対象と方法】IVFを2回以上行い、移植胚がhigh gradeであるにも関わらず妊娠が成立しなかった7例、流産に終わった4例、不育症流産によって卵管不妊となった2例、計13例を対象とした。不育症因子としてはHLA typing, 抗核抗体（ANA）, 抗cardiolipin抗体（ACA IgG, IgM）を調べた。同種免疫異常には夫リンパ球移植術、自己免疫異常・同種免疫異常自己免疫異常合併例・リンパ球移植無効同種免疫異常症例に柴苓湯（ツムラ9.0g/day）療法を行った。

【結果】IVFの適応は卵管性46.2%, 男性不妊23.1%, 卵管性+男性不妊症15.4%, 機能性15.4%であった。不育症因子の診断率は単独例は同種免疫異常38.5%, ACA IgM15.4%, ANA7.7%であり、認め得なかったのは2例（15.4%）のみであった。また合併例は同種免疫異常+ANA, 同種免疫異常+ACA IgG, ANA+ACA IgMが各々1例（7.7%）であった。19周期の治療成績は生児分娩2例（10.5%）, 流産4例（31.6%）, 妊娠不成立11例（57.9%）であった。生児獲得例はhigh grade胚移植のリンパ球移植で流産した症例に柴苓湯を併用した同種免疫異常例とANA陽性例であった。

【考察】1）体外受精で流産に終わった症例やhigh grade胚移植で妊娠が成立しなかった症例には各種不育症因子を検索すべきである。2）柴苓湯は自己免疫異常不育症のみならずリンパ球移植無効同種免疫異常不育症に対しても有効である。